



地域子育て支援拠点「桜っ子広場」／中津市教育福祉センター内にある、子育て中の親子の集いの場。親や子同士の交流や子育てに関する相談はもちろん、毎週開催されるリトミックや読み聞かせなどのイベントを楽しめる。

市長さん

／ 出番ですよ！ ／

子育てしやすいまちづくりを目指す
各自治体の取り組みをシリーズで紹介。

この街大好き

《 中津市 》

子どもの明るい声が聞こえてくる
住みやすく元気なまちづくりに励みます。



中津市 奥塚 正典 市長

こんにちは、中津市長の奥塚正典です。私は、現在ダイハツの工場がある、諸田地区で幼い頃を過ごしました。水田に囲まれた自然豊かなところですから、近くの海や川で魚釣りをしたり、神社で野球や缶けりをして遊んだものです。ゲーム機のない時代でしたから、柳の木を使って刀を作ったりと、自分たちで考えてものを生み出したり、年上・年下関係なく子ども同士みんな一緒に行動することで、周りに対する思いやりの心を育んだり、遊びを通して学ぶことがたくさんあったように思います。私のように、両親、祖父母と曾祖母、兄と姉という4世代8人の大家族で育つことも、今では滅多にない環境でしょうね。父は市役所に勤め、母は農業を営んで忙しくしていました。私たち子どもが家の手伝いをするのは当たり前。私もよく薪で火を起してお風呂を沸かしたものです。こうした環境が珍しくなかった昔と、核家族化がすすむ現代に、違いはあれど変わらないものがあります。それは、親が子を思う心。どの時代でも、親は自分の子どもが元気にすくすくと育ち、立派に自立してほしいと願うものですよ。

私自身の子育てについて、よかったですか？ 妻に聞いてみないと分かりません(笑)。大切にしていたのは、個性や人格を尊重すること。子ども一人ひとりをしっかり見てあげられることを、いつも気をつけていました。多忙だったこともあり、あまり多くの時間は過ごせなかったのですが、出勤前に誕生日会をしたり、子どもを司会にした家族会を毎週したり、息子のラグビーの応援に行ったりと、少ないながら密度の濃い時間を子どもと共有していたと思います。

市長になつてからは、今、中津の子育てに何が必要かをしっかり見極めながら、さまざまな支援を検討、実施しています。中津市では、子育てに関する相談や情報交換の場として、市内5カ所に子育て支援拠点を設置しています。2歳以上のお子さんをお持ちの方を対象に、効果的なほめ方や叱り方を学ぶ「笑顔になる子育て教室」、今年度より始動した、長期休業期間限定の児童クラブの開設など、中津市独自で取り組んでいるものもあります。今後は、子育て支援施設の充実や、全国的課題である保育士不足を解消するため、人材を現場に呼び戻す取り組みも重要な課題となるでしょう。

日本の近代化に貢献した福澤諭吉を生み出し、豊かな自然・歴史・文化に恵まれた中津市。現在、合計特殊出生率が1・9と大分県内の市で最も高いのですが、これからもさらに産み育てやすい環境を整え、社会のため、未来のためにも、子どもの明るい声がきこえてくるまちづくりに励んでいきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

Nakatsu

風情あふれる城下町の街並み、
耶馬溪や青の洞門などの美しい景勝地や史跡。
からあげやハモといった
独自の食文化も話題の中津市は、
さまざまな魅力で
人々をひきつけています。



溪石園

